

大和市子ども読書活動推進会議 会議記録 (要点筆記)

会議名	平成30年度 第2回 大和市子ども読書活動推進会議	
開催日時	平成30年9月25日(火) 15:45~17:15	
開催場所	大和市文化創造拠点シリウス6階 610大会議室	
出席状況	出席委員	<p><推進会議委員> 伏見暢子 今宮智子 古川恵子 高橋光江 佐々木雅子 小林美穂 阿部きふゆ 矢野諭 五十嵐恵美 小林寿子 (順不同・敬称略)</p>
	欠席委員	<推進会議委員> (3名) 橋爪ゆき 椿伊智郎 松村佐和子
	市側出席者	<事務局職員> (3名) <指導室> (1名)
	図書館出席者	<指定管理者> (2名)
	傍聴人人数	0名
公開非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	
審議又は検討経過及び結果	<p>・委員の出席状況の確認 ・配布資料確認 ・図書館長及び指導室担当者から一言</p> <p>1 開会 2 議事</p> <p>こども読書わくわくプラン実施計画の進捗点検について ◎事務局より、資料1-1を基にこども読書わくわくプラン実施計画の点検について説明。 ◎事務局より、資料1-2を基に基本方針1の施策の展開(1)家庭における読書活動の促進について説明。</p> <p>質疑・意見他</p> <p>委) 5番の子どもの本のコンシェルジュの設置について、基本的にどのような活動をしているのか。 指定) 気軽に声をかけてほしい、という目印としてこども図書館のスタッフはコンシェルジュバッジを着用している。 会) 実際にコンシェルジュバッジを着用してから、問い合わせに来る人は増えたのか。 指定) 特に増えたということではないが、変わらず声をかけてもらえている。 委) コンシェルジュバッジは、どの程度子どもたちに認知されていて、バッジの意味を理解できていると考えているか。 指定) あくまでもコンシェルジュバッジは目印で、制服を着ている人であれば誰に問い合わせをいただいても構わないが、中でも、子どもコンシェルジュであるスタッフに相談したいという方の目印にしている。</p>	

- 委) 4番の調べる学習の推進について、調べる学習チャレンジ講座の参加人数が目標に達しなかったということだが、どの程度周知していたのか。
- 指定) 小学校には、全校にチラシを配布した。また、館内の目の付くところにチラシを配架し、周知していた。また、講座の申込は40人に達していたのだが、キャンセル等があり当日の参加人数が定員に達しなかった。
- 委) チラシを拝見したが、申込者の上限を書けばもっと応募が来ると思った。
- 会) 学校にチラシを配布しているということで、学校とも連携が取れている。B評価は厳しいのではないかとも思うが、どうか。
- 委) しかも、キャンセルで定員に達しなかったとなれば、確かにB評価は厳しいかもしれない。
- 委) 1度参加したことがありとても良い講座だったので、また応募したかったが、1日しか開催ということもあり日程が合わず、参加することができなかった。また、1、2年生は親子でないと参加できないので子どもだけでも参加できるとよいなと思う。
- 事) 施策の展開(1)が家庭における読書活動の促進なので、親子で、ということを中心に前提に取り組んでいただいている。しかし、親子で参加できない子もいるので、柔軟に考えていかなければと思う。
- 指定) 他の利用者からも同じ意見をいただいている。今後、複数日開催ということも可能性としてあると思うので、工夫の余地を考えていく。
- 会) さらに工夫をするように、という意見を加え、A評価ということでよいか。
→了承
- 事) では、いただいた意見を踏まえ、フィードバックさせていただく。

◎事務局より、施策の展開(2)こどもの読書に関わり、支える人材の育成について説明。

質疑・意見他

- 会) 6番の学校図書館ボランティアの育成について、各学校で新しく入ったボランティアの方には既存のボランティアの方が教えているということによかったか。
- 委) 学校ごとに独自に活動が行われている。PTAの中で行っていたり、図書ボランティアとして独自に活動されていたりするところもある。
- 会) 保護者の力もついてきて、学校のボランティアが成熟しているように思う。
- 委) 大和市は学校図書館が整備され、学校図書館司書も常にいるという環境で、ボランティアの方に手伝っていただきたいところが明確になり、ボランティアにとってもよいことだと思う。

◎事務局より、施策の展開（３）こどもに関係する機関や団体との幅広い連携について説明。

質疑・意見他

- 会) 1 2 番の学校と図書館の連携及び情報共有について、とても大切だと思っている。A評価になるような時間のかけ方をしていただければと思う。
- 委) 1 3 番の学校、教育・保育施設への団体貸出しの促進について、団体貸出で本を借りる際には車が必要になってくるので、シリウスの駐車場の料金を減免することができれば、団体貸出を利用できる団体が増えると思う。
- 会) 保育園で団体貸出を受けたくても、駐車料金の関係で借りられないこともあるということを承知いただきたい。
- 事) 今後の課題にする。
- 指定) 団体貸出しの推進は課題としている。公立保育園以外にも周知しているが、やはり駐車場の料金等でなかなか借りることが出来ないという意見をいただいている。

◎事務局より、基本方針 2 の施策の展開（４）地域における読書活動の拠点整備について説明。

質疑・意見他

- 委) 1 6 番の子どもに身近な場所でのおはなし会の実施について、おはなし会の実施はボランティアが行っているものか。
- 事) 各地区でボランティアが行っているものと、学習センターが行っているものがある。
- 会) 学習センターが指定管理に移行しても、おはなし会等に部屋を貸していただけるものか。学習センター図書室はとても狭いので心配だ。
- 事) 指定管理に移行したからと言って、収入がない事業が取り組まれないということになってはならないと思っている。あらかじめ収入のない事業にも取り組むように仕様にも書ければと思っている。
- 会) 今まで培ってきた糸が切れないように取り組んでいてもらいたい。
- 会) 個人的な質問になるが中央林間図書館では、読み聞かせは行えるのか。
- 事) スペースを確保すれば、読み聞かせを行える。実際に声優の方を呼び、読み聞かせを行ったこともある。中央林間図書館は親子向けでないところもあるので、ポラリスに出張して読み聞かせを行ったりもしている。
- 委) おはなし会の時間が午後 3 時 3 0 分から（シリウスで開催される「ひとりで聞ける子のおはなし会」）で、小学生の上の子が帰ってくる時間なのでなかなか参加できない。コミセンとか身近な施設でも読み聞かせを行ってほしい。

副) すでに各コミセン及び児童館にて子育て支援の一貫として、ボランティアの方が午前中におはなし会を行っている。本の紹介はしないが、必ず本を絡ませてプログラムに織り交ぜている。

会) 市内の色々なところで、おはなし会が行われているようだ。そのようなことも把握しながら取り組んでいただくとよいかもしれない。

事) 次期計画を策定するときに、市内の状況を把握する調査をおこなう。その際に学習センターのみではなく、コミセン等の取り組みも把握したいと思う。

◎事務局より、施策の展開（５）こどもがいる場所にある本の魅力向上について説明。

質疑・意見他

会) 24、25番について、中学校では、障害を持つ生徒との関わりはどのようにしているか。

委) 中学校にも支援級の生徒でも利用できるように、読みやすい内容の本を置いている。

会) 24番の多言語図書の収集と活用、25番の障害のある子どもへの読書支援については、A評価ではあるがより一層しっかりと取り組んでいただけたらと思う。

◎事務局より、施策の展開（６）学校等での生活を通じた読書習慣の形成について説明。

質疑・意見他

指定) 32番の調べる学習の実施について、図書館で調べる学習チャレンジ講座をおこなっているが、指導室を通じて学校図書館スーパーバイザーの方に講師をお願いしている。

事) そういった形での学校図書館と図書館との連携も含め、S評価としている。

指導) 調べる学習の研修を教員向けに行い、学校図書館で調べる学習の授業を行った。その結果、調べる学習コンクールの応募が去年は2千点だったが、今年は6千点もあった。

会) 30番の図書委員会活動の支援について、図書委員会と図書館とでは連携しにくいと思うがどうか。

指導) 現在は、図書委員会と図書館との連携は行われていない。

会) 間に学校図書館司書が入ったりしないと難しいかもしれない。支援のあり方を広くとらえて、たとえば交流という見方をするなど、現実に合わせていくのが良いと思う。

事) 学校図書館司書連絡会等での情報共有も含め、仕組みづくりなどを検討してください、というような意見案に修正する。

◎事務局より、基本方針3の施策の展開（7）読書の楽しさを伝える取組の実施について説明。

質疑・意見他

委) 36番の一日図書館員の実施について、夏休みに入ってしまうので、学校に行く予定があったりして、日程が合わず参加できない。

指定) 実施時期については検討する。

副) 評価が参加人数だけで決まるわけではないので仕方がないと思うが、35番の中高生向けの読書関連講座の実施は4人参加のA評価で、36番の一日図書館員の実施は36人参加のB評価なのかと思ってしまう。事業の実施の時期については、日程次第で参加人数が大きく変わると思うので、日程の調整を検討していただきたい。

副) 読書感想文の講座は小学生のみが対象か。

指定) そうである。

副) 中、高生向けにも実施されるとよいと思う。

会) 38番の民間商業施設でのおはなし会等の実施について、検討したが実施に至らなかったとあるが、実際にはボランティア団体が実施している。民間商業施設でのおはなし会の実施が全くないという事ではないということは承知していただきたい。

副) 本屋や高座渋谷のイオンでおはなし会を実施したこともある。

事) 取り組みの参考にさせていただく。

◎事務局より、施策の展開（8）自発的な読書活動を促すための情報発信について説明。

質疑・意見他

特になし。

3 その他

大和市民まつり部会員選出について

◎事務局より、イベント部会に第42回大和市民まつり部会員選出報告書を今宮委員のお名前でお名前を提出する旨を報告。

質疑・意見他

特になし。

4 閉会

以上

注（委：委員 会：会長 副：副会長 指定：指定管理者 指導：指導室 事：事務局）